

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	腎管状嚢胞癌のCT、MRI所見に関する後ろ向き研究		
2. 対象患者	平成17年1月1日から平成 28年3月31日までに腎管状嚢胞癌、集合管癌、多房嚢胞性腎細胞癌、成人型嚢胞性腎腫、混合性上皮間質性腫瘍と診断された患者さんおよび平成27年1月1日から平成27年12月31日までに乳頭状腎癌と診断された患者さんを対象とします。		
3. 対象となる期間	平成17年 1月 1日 ~ 平成28年 3月 31日		
4. 実施診療科等	放射線科		
5. 研究責任者	氏名	小野修一	所属 放射線科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	参加施設: 16施設 広島大学(本田有紀子)(研究統括責任医師: 粟井和夫) 弘前大学(小野修一)、亀田総合病院(大内恵理)、千葉大学(堀越琢郎) 埼玉県立がんセンター(野津聡)、横浜市立大学(縄田晋太郎) 名古屋大学(松島正哉)、静岡がんセンター(遠藤正浩) 京都桂病院(山岡利成)、川崎医科大学(山本亮)、倉敷中央病院(小山貴) 新古賀病院(小野研)、琉球大学(村山貞之)、大分大学(森宣) 慶応義塾大学医学部(研究アドバイザー: 陣崎雅弘) 神戸大学(研究アドバイザー: 高橋哲) 研究事務局: 近土写真製版株式会社 資金提供: バイエル薬品株式会社		
7. 研究の意義	腎管状嚢胞癌は稀な腫瘍ですが、まとまった画像診断の報告は海外の1報のみであり、今回、国内多施設で後ろ向きに症例収集し、画像所見を考察することにより、鑑別点を見出すことは臨床的な意義があると考え、当研究を企画しました。		
8. 研究の目的	腎管状嚢胞癌におけるCT、MRIを中心とした画像所見の鑑別点の検討を行います。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合があります)	DICOMデータ(画像情報)、症例報告書(患者様のカルテから疾患に関連する情報を収集します)		
10. 個人情報の保護	症例報告書は患者様の個人情報とは無関係の本研究用登録番号を付して管理を行い、秘密保護に十分配慮いたします。また、研究結果を公表する際には個人を特定できる情報を含まないようにいたします。		
11. 利益相反に関する状況	本研究に関してはバイエル薬品株式会社より「医師主導臨床研究に関する契約」に基づき資金提供を受けますが、本研究の実施および評価に影響を及ぼすことはありません。本研究は、資金源に関係なく公正に行われます。尚、利害の衝突に関しては当施設の倫理委員会において審査を受けております。		
12. 連絡先	放射線科 准教授 小野修一		
	電話	0172-39-5103	FAX 0172-33-5627